



健康寿命延伸のために

新潟市

スマートウェルネスシティの取り組み



第6回 環境未来都市構想推進国際フォーラム 平成28年8月30日

人口：約81万人

平成19年 4月
本州日本海側初の政令市へ移行

8つの行政区が誕生

■平成28年度
政令市移行10年目

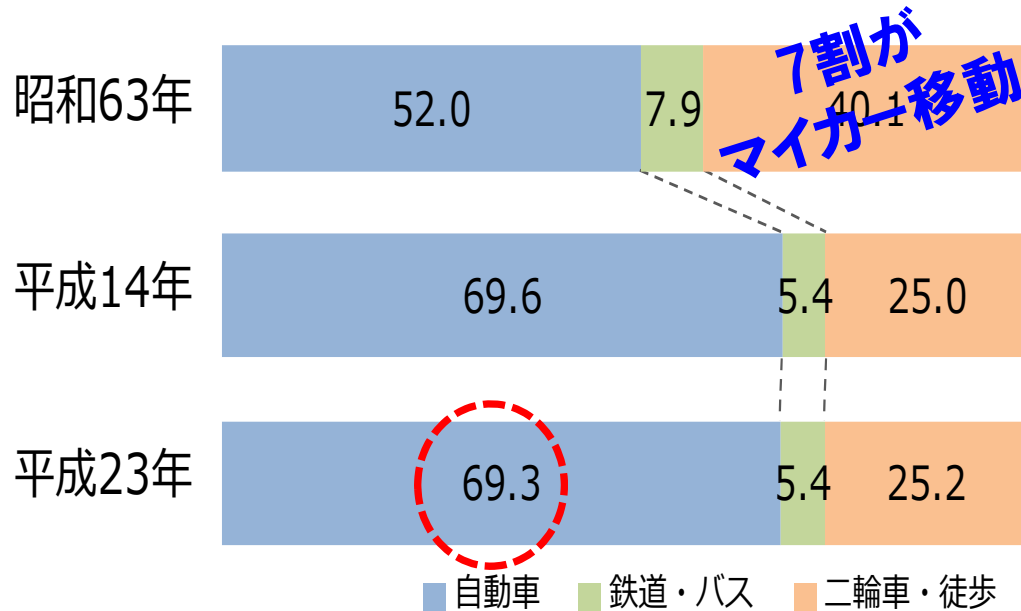


日本一安心して暮らせるまち
「安心政令市にいがた」を確立



高いマイカー依存

手段別移動分担率の推移



全国平均を下回る平均歩数

1日あたり平均歩数

単位：歩/日

	男性		女性	
	15歳以上	70歳以上	15歳以上	70歳以上
新潟市	6,401	4,440	5,990	3,305
全国	7,074	5,102	6,006	3,790

新潟市：平成19年市民健康・栄養調査
全 国：平成20年国民健康・栄養調査

住んでいるだけで「歩いてしまおう、歩き続けてしまおう」まちづくり
スマートウェルネスシティの推進



健康づくり

運動支援事業

にいがた
未来ポイント

健康寿命延伸に
向けた取り組み

まちづくり

公共交通の強化

歩行空間の整備

自転車利用環境の
整備

健幸都市
「SWC」

- スマートウェルネスシティ総合特区（H23年12月指定）
スマートウェルネスシティの実現のため国の支援を受けながら進める特区の指定を受ける
- 新潟市公共交通及び自転車で移動しやすく
快適に歩けるまちづくり条例(平成24年7月制定)

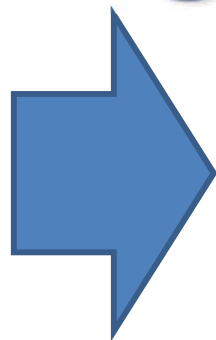


平成22～28年9月まで
いきいき健康づくり支援事業

ICT を活用した健康づくり事業
6年間参加実人数:約2,500人参加

体力年齢
5.2歳若返り

歩数
2,300歩増加



平成28年秋から新たな
運動支援事業スタート!

これまでの成果を生かしながら、
より多くの市民が参加できる
支援事業に進化

運動効果の見える化は継続

教室型からライフスタイル型
へ転換

少ない経費で参加者を拡大

★ 歩数に応じて
にいがた未来ポイント
をゲット!

【医療費削減効果】
H22～24継続参加者 29人
国保加入者の医療費の平均増
加額よりも5,000円抑制
⇒新事業では効果検証を強化

にいがた未来ポイントで無関心層の行動変容

花開く活力、
満ちる笑顔、
協働市新潟



1. 健康づくり エコ活動へ参加



H28新規

運動支援事業
歩数によるポイント



2. バスICカード おサイフケータイに ポイントためる



3. 1000円分 と交換！



新潟市共通商品券へ

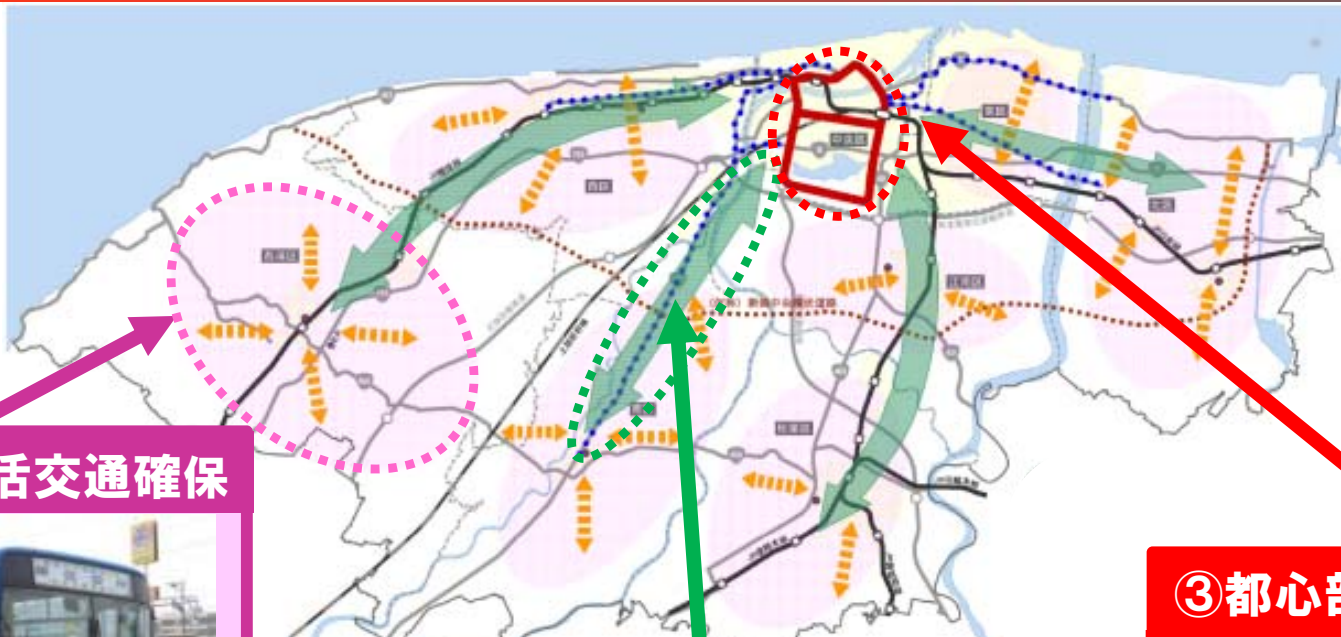


バス乗車ポイントへ

年間上限3000円まで交換

平成27年度
参加実人数
約 2,800人⁶

公共交通の強化



① 地域内の生活交通確保



コミュニティバス

② 都心アクセスの強化



鉄道・骨格幹線バス パーク&ライド

③ 都心部での移動円滑化



BRT(次世代型バスシステム)

生活交通の再構築

地域と都心の連携

BRTの導入

移動しやすいまちづくりから まちのにぎわい創出へ

歩行空間の整備 ライジングボラードの設置

花開く活力、
満ちる笑顔、
協働 新潟市



■中心市街地「中央区古町通6番町」設置

★ 正午～翌朝8時 歩行者専用道路

■H25.10.22～H26.2.28「社会実験実施」

全国初の公道設置

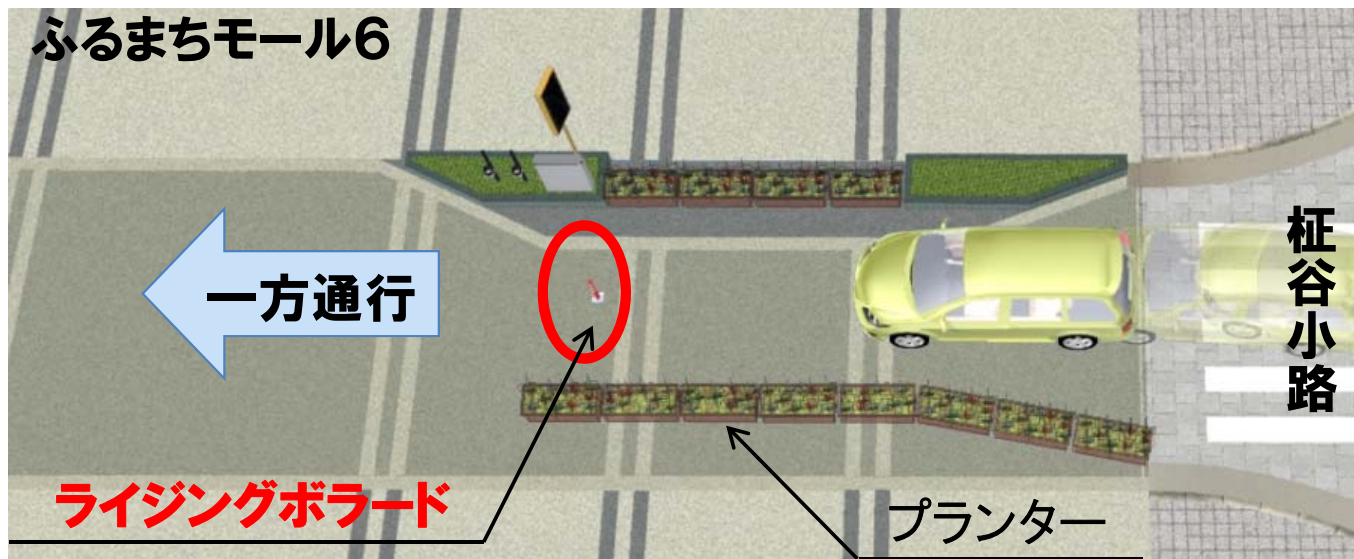
違反通行車両の激減(119台/週⇒2台/週)

■H26.8.1～ 本格運用開始



↑ソフト素材 リモコン→
↓H25.10.22通行式

ふるまちモール6



自転車利用環境の整備

ぐるりん新潟島(サイクリングロード) L=15km

自転車マップ(江南区)



◆ハード整備・ソフト施策を
 展開し自転車利用を促進

←距離標

新潟シティライド



H28.6月 707人参加



自転車通行帯



まちなかの駐輪場



レンタサイクル





- 公共交通
- 歩行者空間
- 自転車利用環境



- 都市機能の集積
- まちなかりバージョン
- ミズベリング



まち
づくり

健康
づくり

地域
づくり

環境健幸都市

•多くの市民が参加・
継続できる健康づくり
•健康寿命延伸に向け
た取り組み

•地域交流活動支援
↓
•日常の外出機会増